

AI等の高度科学技術と法

研究者プロフィール

- ・ 法学部法律学科 講師 横山優斗
- ・ 刑事訴訟法、証拠法
- ・ 科学的証拠、AIと証拠、AIと犯罪捜査、AIと法
- ・ 日本刑法学会、更生保護学会
- ・ その他所属：信州大学社会基盤研究所 特任講師

研究内容

刑事訴訟法の研究をしています。特に、DNA鑑定や法医学鑑定、AI証拠等の科学的証拠が刑事裁判で採用されるための基準について関心があります。また、それと関連して、高度な科学技術やAIが警察活動に利用される際の法的問題についても、各国の法規制の比較法研究を中心に進めてきました。比較法の研究対象は、アメリカ、ドイツ、EU、スウェーデンです。

また、刑事政策に関しては、一般社団法人みとびらと連携し、日本初の「刑務所の中にあるファッションブランド」をつくる産官学連携のプロジェクトにも取り組んできました。

関連キーワード

刑事訴訟法、AIと法、AI捜査、科学的証拠

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

AIを利用する際の法的問題（規制、リスク等）については知見を提供できるかと思っています。そこで、AIを実装した事業を行いたい、どのようなリスクが生じるかが見通せない、そうしたリスクに対してどのような対処をしたら良いか分からないような場合に、連携して共同研究を実施し、方向性を探ることが可能です。現在日本で議論されている事項、海外で規制が進んでいる事項を調査し、アドバイスいたします。

また、みとびらプロジェクトのような刑事司法に関する事業を実施する場合に、事業者、矯正施設等と連携して専門的な観点から助言をすることもできます。

研究者への連絡先

yuto.yokoyama@mail.tohoku-gakuin.ac.jp